

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	善光寺街道 400 年イベント「伊勢—善光寺古道再発見」
事業主体 (連絡先)	善光寺街道協議会 090-2160-6840
事業区分	(6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	23,224,257 円 (うち支援金 : 1,576,000 円)

事業内容

善光寺街道のブランド化に向けて、地理的および歴史的に特徴付けるため、「善光寺と伊勢を最短距離で結ぶ巡礼道」として「伊勢—善光寺古道」という捉え方で事業に取り組んだ。まず、伊勢への道のりを確認するため、視察を行った。学習会では式年遷宮を迎えた伊勢神宮について講師を迎えて学びながら、善光寺街道沿線の伊勢探しを試みた。現在はその多くが忘れ去られているが、伊勢信仰の遺跡や道標も各所に残っている。

平成26年は善光寺街道400年の節目に当たることから、記念冊子として『「善光寺道名所図会」を歩く』を刊行した。善光寺街道の認識を深めるために最適の教材として『善光寺道名所図会』の周知を図った。

事業効果

伊勢—善光寺古道は名古屋市の中心を通過している。そこから善光寺へ向かう下街道は通称善光寺街道ともいい、伊勢—善光寺古道にとって大変重要な地域となる。現地へ赴き、また沿線のガイド団体と交流することで、更にその認識が深まった。

冊子『「善光寺道名所図会」を歩く』は評判が良く、街道への関心が高まってきていることを感じる。また、冊子という手段で情報の交流がより深くなったといえる。

今後の取り組み

平成26年の善光寺街道400年は一つの節目として新たな一歩にしなければならない。その上で冊子『「善光寺道名所図会」を歩く』は一つの総括と言える。今後広域的な視野のもと、伊勢神宮とつながる「伊勢—善光寺古道」の中継地点である名古屋を拠点に、中京圏における善光寺街道のPR活動を進めていきたい。2大聖地を結ぶこの道の先には、熊野古道があり、そして西国三十三番札所を巡り、再び善光寺に帰る。この大巡礼道を念頭に、古き日本人の旅文化復興を目指し、街道再生に取り組んでいく。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。



【善光寺街道の見どころの一つ
今井兼平ゆかりの地】

自己評価 (事業実施率) 【 A 】

【目標・ねらい】

- 中山道・東海道と街道名でたどるのではなく、聖地をつなぐ巡礼道として「伊勢—善光寺古道」は街道歩きの新たな提案を示す。
- 街道を通して日本の旅文化の原型を掘り起し、復興を目指す。

自己評価 (目標達成率) 【 B 】